

課題 1 – L^AT_EX 2_ε の練習

専攻名 学生番号
氏 名

概要

L^AT_EX 2_ε の基本の練習です。今回は、文書を作るための基礎の練習をしよう！

目次

1 パラグラフ、改行

パラグラフ（段落）の最初では、「字下げ」（インデント）が起きる。段落の区切りをつけるには、原稿に空行を入れる。

空行を入れると、改行されると共に自動的に字下げが起きる。自分で字下げをしようとして、原稿で段落の初めに全角のスペースを入れると、その空白に加えて L^AT_EX 2_ε が作る字下げが生じ、次のように頭が空きすぎてしまう。したがって、自分では字下げをしないこと。

段落のはじめに自分で全角空白を入れると、こうなってしまう。

原稿の改行は無視される。改行は L^AT_EX 2_ε が適切な場所で自動的にやってくれるから、原稿では、好きなところで勝手に改行すればよい。改行しないでベタッと入力してもかまわない。

強制的に改行したいときには、`\`を入れる。これを使うと、改行だけで字下げが起きない。例えば、こういうふうに。

場合によっては、原稿を見やすくするために空行を入れるけれども、字下げはしたくないこともある。そのときには、空行の後、段落が始まる前の位置に`\noindent`（インデントしないで！、というコマンド）を入れる。

以上、まとめると

- 原稿の改行と出来上がりの改行は別。
- 強制的に改行するには、`\`を使う。
- 原稿の空行は、段落の区切りとみなされる。
- 段落の冒頭では、原稿では字下げをしない。L^AT_EX 2_ε が自動的に下げる。

2 フォント

これは、ゴシックの大きい文字です。サイズは Large だよ。これは、

Huge。大きいねー \(\^^)/ これは scriptsize。ちっちゃくてカワイイねー。

3 箇条書きと脚注

箇条書きには itemize 環境、enumerate 環境、description 環境があったよね。この中で、itemize 環境は項目に記号を付けて箇条書きをするときに使います。

- 第一項目です。
- 第二項目です。
- 第三項目です。

enumerate 環境を使うと、項目に番号が付くよ (°o°)

1. 第一項目です。
2. 第二項目です。
3. 第三項目です。

description 環境については、脚注に書きます。^{*1}

4 空白について

半角の空白は、原稿の文章中にいくつ入れても 1 個とみなされます。出来上がりの空白を制御するには様々な方法があります。例えば、横に 1cm 空けるなら `\hspace{10mm}` と書きます。すると 　　こうなります。段落間で縦方向に 5mm 空けるなら、空行を入れた後に `\vspace{5mm}` と書きます。すると

このように、空行によって段落が変わると共に、前の段落との間に所定の間隔が開きます。空白制御は、他にも色々あります。Web で、`tex 空白` で検索すると出て来るよ。

^{*1} 太字の見出しが付いた箇条書きです。